

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E112L002		技術科授業論 (Practical theory of Industrial Arts)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	3	教育学部 ≪令和2年度 以降入学生用 ≫		水3	日本語	英語	オムニバス						
担当教員	氏名 中原久志, 市原靖士													
	E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp (中原) 内線 7590 (中原)													
授業の概要	中学校技術科の基本的な学習指導方法を理解し、授業の設計、実践、評価に関する実践力を習得する。													
具体的な到達目標														
目標1	技術科の学習指導方法と授業設計の考え方を理解する。						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標2	技術科の4内容に即した効果的な教材・教具の活用と実践事例を知る。							○						
目標3	技術科の学習評価の考え方と実施方法について理解する。							○	○					
目標4	上記を踏まえた授業を設計し、マイクロティーチングを行うことで、自己の指導力向上に向けた課題を把握する。							○	○					
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度 (計10)								5	2	3				
授業の内容														
1	技術科の学習指導方法と授業設計の考え方 (担当: 中原久志)					カリキュラムと題材、授業の構成、バーチャル授業研究(VTR視聴)								
2	技術科の学習指導方法と授業設計の考え方 (担当: 中原久志)					教授スキルと学習支援のあり方、教材・教具とICTの活用								
3	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「材料と加工に関する技術」の授業づくり (担当: 中原久志)		目標と内容、題材及び実践事例の検討						
4	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「材料と加工に関する技術」の授業づくり (担当: 中原久志)		教材・教具の活用と指導の実際						
5	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「エネルギー変換に関する技術」の授業づくり (担当: 中原久志)		目標と内容、題材及び実践事例の検討						
6	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「エネルギー変換に関する技術」の授業づくり (担当: 中原久志)		教材・教具の活用と指導の実際						
7	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「生物育成に関する技術」の授業づくり (担当: 市原靖士)		目標と内容、題材及び実践事例の検討						
8	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「生物育成に関する技術」の授業づくり (担当: 市原靖士)		教材・教具の活用と指導の実際						
9	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「情報に関する技術」の授業づくり (担当: 市原靖士)		目標と内容、題材及び実践事例の検討						
10	4内容に即した教材・教具の活用と授業の実際					「情報に関する技術」の授業づくり (担当: 市原靖士)		教材・教具の活用と指導の実際						
11	技術科における学習評価 (担当: 市原靖士)					学習評価の考え方、観点別評価、評価基準(ルーブリック)の作成方法								
12	技術科における学習評価 (担当: 市原靖士)					学習評価演習 (テスト作成の演習、レポートを評価する演習など)								
13	技術科の授業づくり演習 (担当: 市原靖士・中原久志)					学習指導案の作成								
14	技術科の授業づくり演習 (担当: 市原靖士・中原久志)					マイクロティーチング								
15	技術科の授業づくり演習 (担当: 市原靖士・中原久志)					授業の評価と改善								
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	演習, 実技, 自己・他者評価, ディスカッション				工夫その他の							
	B:意見の表現・交換	○												
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		技術科教育概論を熟読する(30h)											
	事後学修		課題レポートを作成する(30h)											
	想定時間合計													
教科書	中学校学習指導要領(978-4827815795) 中学校学習指導要領解説 技術・家庭編(978-4304021541) 技術科教育概論(978-4798502335)													
参考書	新しい技術・家庭技術分野 東京書籍(978-4487123810) 技術・家庭技術分野 開隆堂 (978-4304081002)													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業づくり演習		50%	○	○	○	○						
	期末考査		50%	○	○	○							
注意事項													
備考	※この科目は『地域創生教育科目』です。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の実務 経験	中学校教員（中原，市原）												